



証券のための金融、証券による金融

平成**23**年**3**月期

第**97**期 報告書

平成22年4月1日～平成23年3月31日

大証金



## ▲ 会社のプロフィール

- ◎証券市場に良質・低利な資金を安定的に提供することが使命
- ◎大阪証券取引所の指定証券金融会社として、金融商品取引法上の免許業務である貸借取引業務(制度信用取引の決済に必要な金銭または株券を金融商品取引業者に貸し付ける業務)を担う
- ◎貸借取引業務のほか、一般信用取引向け貸付業務、証券担保ローン業務、有価証券貸借業務等を通して証券市場の機能発揮をバックアップ
- ◎大証(昭和25年)、東証(平成12年)に株式を上場
- ◎役職員数は約90名、営業拠点は大阪本店・東京支社
- ◎格付け
  - 長期格付け シングルAマイナス **A-** [R&I(格付投資情報センター)]
  - シングルAマイナス **A-** [JCR(日本格付研究所)]
  - 短期格付け エイワン **a-1** [R&I]
  - ジェイワン **J-1** [JCR]

(平成23年3月末現在)

## 株主のみなさまへ .....

### ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、当社平成22年度(第97期)報告書をお届けさせていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

当社の平成22年度決算におきましては、証券市場が低迷するなか証券担保ローンの減少等による営業収益の減収に加え、将来的なリスクの低減を図る観点から貸倒引当金繰入を前広に実施したことなどから、経常損益は赤字となりました。

一方で、最終損益はリーマン・ブラザーズ証券株式会社に対する再生債権にかかる弁済額および同債権にかかる譲渡益を特別利益に計上したことから、大幅増益となりました。

期末配当につきましては、当社を取り巻く経営環境に不透明な面があることおよび引続き自己資本の着実な回復が緊要であること等に鑑み、誠に遺憾ではございますが、1株3円とさせていただきます。今後早期に1株年6円の安定配当への復帰を実現できる収益体質を構築すべく、より一層の経営努力を重ねてまいりますので、株主の皆様には何とぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

当社は、大阪証券取引所が昨年10月に新たに開設しました国内最大の新興市場でありますJASDAQ市場の指定証券金融会社として貸借銘柄の一層の拡大を図るなど同市場の振興に努めることなどにより、わが国証券市場発展の一翼を担うとともに、業容の拡大、新たなビジネスチャンスの掘り起しに努めてまいります。

株主の皆様には引続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



取締役社長  
堀田 隆夫

運用資産の減少に伴う営業収益の減収に加え、  
一般管理費の増加等から経常損益は赤字となったものの、  
純利益は特別利益の計上から大幅黒字

**【営業収益】 34億円 (前期 51億円)**

- 証券市場が低迷するなか、リスク管理重視の観点からの運用資産内容の見直しを徹底したことから、証券担保ローンの資金運用残高が減少。

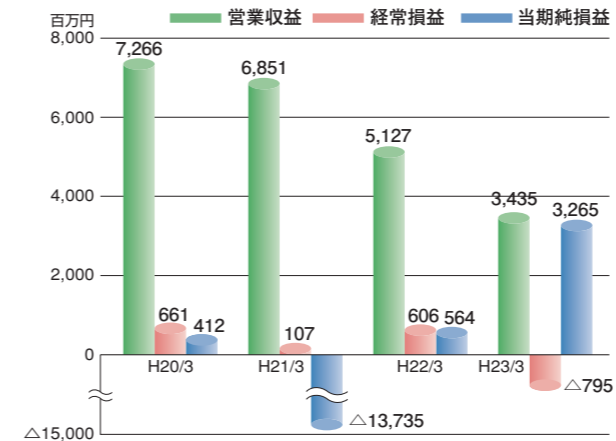
**【経常損益】 ▲795百万円 (前期 606百万円の経常利益)**

- 利鞘収入の減収に加え、貸付先の返済力低下リスク等に備えて前広に貸倒引当金繰入を実施したことなどから経常赤字を計上。

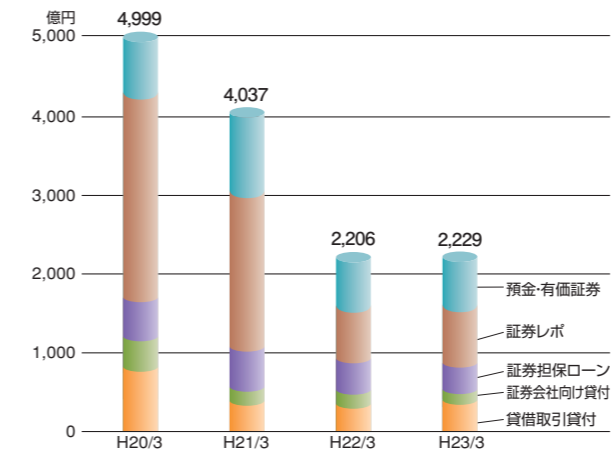
**【純利益】 3,265百万円 (前期 564百万円)**

- リーマン・ブラザーズ証券株式会社に対する再生債権にかかる弁済額(2,713百万円)および同債権の譲渡益(1,999百万円)を特別利益に計上したことにより大幅な黒字。

●営業収益、経常損益、当期純損益



●資金運用の内訳 (平均残高)



■損益計算書

損益計算書	前期	当期
科目	百万円	百万円
<b>経常損益</b>		
営業収益	5,127	3,435
貸付金利息	2,753	2,214
有価証券貸付料	879	742
その他の営業収益	1,494	478
営業費用	2,050	1,586
支払利息	772	500
有価証券借入料	872	725
その他の営業費用	405	359
一般管理費	2,700	2,861
営業利益または営業損失(△)	376	△ 1,012
営業外収益	247	231
受取利息および配当金	163	155
その他の営業外収益	83	75
営業外費用	17	15
経常利益または経常損失(△)	606	△ 795
<b>特別損益</b>		
特別利益	8	4,791
固定資産売却益	5	4
償却債権取立益	—	2,787
債権売却益	—	1,999
その他	3	0
特別損失	25	29
固定資産除去損	7	23
固定資産売却損	11	—
その他	6	6
税引前当期純利益	589	3,965
法人税、住民税および事業税	7	5
法人税等調整額	17	694
当期純利益	564	3,265

## 貸借対照表

資産の部	前期末	当期末
科目	百万円	百万円
流動資産	251,499	159,680
現金・預金	3,109	4,363
有価証券	28,495	8,004
貸付金	77,472	77,229
借入有価証券代り金	138,447	71,795
その他の流動資産	6,321	449
貸倒引当金	△ 2,348	△ 2,161
固定資産	42,167	76,436
有形固定資産	468	382
建物	83	72
その他の有形固定資産	384	310
無形固定資産	945	676
ソフトウェア	941	671
その他の無形固定資産	4	4
投資その他の資産	40,752	75,377
投資有価証券	40,435	74,768
その他の投資	503	1,402
貸倒引当金	△ 186	△ 794
資産合計	293,666	236,116

負債の部	前期末	当期末
科目	百万円	百万円
流動負債	265,148	205,665
コールマネー	12,200	7,000
短期借入金	213,800	156,950
コマーシャルペーパー	1,000	15,000
貸付有価証券代り金	27,360	21,788
その他の流動負債	10,787	4,926
固定負債	13,135	12,700
長期借入金	12,100	12,000
退職給付引当金	308	331
役員退職慰労引当金	210	149
その他の固定負債	517	219
負債合計	278,284	218,365
純資産の部		
株主資本	14,556	17,502
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	3,229	3,229
利益剰余金	6,458	9,403
自己株式	△ 131	△ 131
評価・換算差額等	825	249
純資産合計	15,382	17,751
負債・純資産合計	293,666	236,116

## 《今後の取組み》

### 中期経営計画（平成23～25年度）（平成23年4月28日公表）

#### ●基本認識

貸借取引業務の担い手として市場振興に努めるとともに、経営環境の変化に弾力的に対応しつつ、顧客基盤の拡充その他の経営基盤強化策を着実に推進し、企業価値の向上に邁進する。

- 「証券のための金融、証券による金融」を創業時以来の社会的使命として再認識し、貸借取引業務を核として証券市場の発展に貢献する。
- お客様の視点に立ち、質の高いサービスを提供し、顧客基盤の拡充強化を図る。
- 営業基盤の強化、合理化の徹底により、収益力の強化、さらなる自己資本の回復に努める。
- リスク管理およびコンプライアンス体制の徹底を重要課題と認識し、PDCAサイクルを継続して実践する。

#### ●経営目標

- 安定的な収益基盤の拡充を図り、持続的な業績向上を目指す。
- 優先株配当を堅持すると同時に、普通株についても早期に1株当たり年6円配当に復配し、安定配当の実施に努める。
- 財務内容の健全性の維持、向上に努め、安定的な企業経営に必要な水準を確保する。

### 平成23年度見通し

	(百万円)	[平成22年度実績]
営業収益	4,000	(3,435)
経常利益	450	(△795)
当期純利益	450	(3,265)

# 株式について

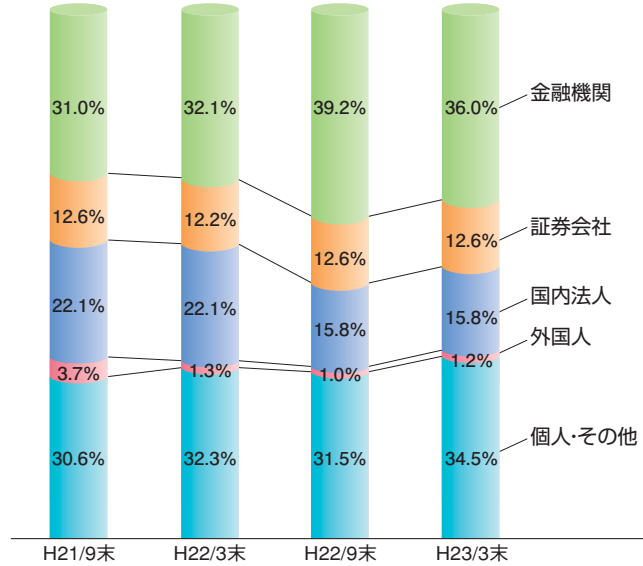
## 株式の状況〔普通株式〕（平成23年3月末現在）

- 1. 会社が発行する株式の総数…………… 9,450万株
- 2. 発行済株式の総数…………… 3,700万株
- 3. 株主数…………… 9,644名
- 4. 大株主

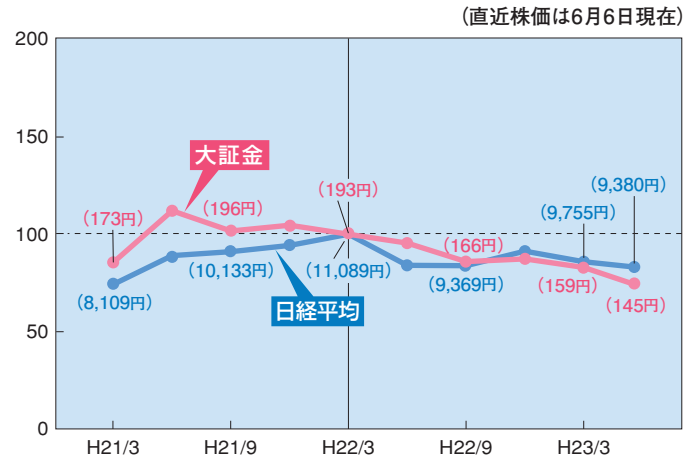
株主名	持株数	持株比率
株式会社だいこう証券ビジネス	429.9万株	11.6%
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	284.6	7.6
野村ホールディングス株式会社	200.0	5.4
株式会社みずほコーポレート銀行	166.6	4.5
株式会社三菱東京UFJ銀行	166.6	4.5
株式会社りそな銀行	166.6	4.5
株式会社三井住友銀行	166.5	4.5
株式会社新生銀行	109.8	2.9
財団法人資本市場振興財団	84.3	2.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	52.6	1.4

(注) この他、平成23年3月末現在 優先株式1,500万株を発行しております。

## 株式の所有者別分布〔普通株式〕



## 株価推移（平成22年3月末=100、株価は終値ベース）



# 会社概要

設立/昭和8年9月18日  
 資本金/50億円  
 代表者/取締役社長 堀田隆夫  
 従業員数/73名(派遣社員を含む)  
 株式上場/大阪証券取引所市場第1部  
 東京証券取引所市場第1部

## 取締役および監査役（平成23年6月24日現在）

- ※ 取締役社長 堀田 隆 夫
- ※ 専務取締役 虎竹 洋 文
- 常務取締役 西山 剛
- 取締役 源太 忠彦
- 取締役 小田 康史
- 社外取締役 沖津 嘉昭
- 社外取締役 神崎 健一
- 社外取締役 佐々木 茂夫
- 社外取締役 吉武 文徳
- 常勤監査役 伊藤 俊示
- 社外監査役 和田 英夫
- 社外監査役 山下 公央

(注) ※は代表取締役であります。

## 事業所

本店/〒541-0041 大阪市中央区北浜二丁目4番6号  
 TEL06-6233-4510 FAX06-6233-4514  
 東京支社/〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目15番3号  
 TEL03-5299-6311 FAX03-5299-6317



東京支社



本店

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月開催  
基準日 定時株主総会・期末配当金……………3月31日  
中間配当金……………9月30日  
そのほか、必要ある場合は、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めることがあります。

公告方法 電子公告により当社ホームページ  
(<http://www.osf.co.jp/>)に掲載いたします。  
なお、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、産業経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京、大阪

証券コード 8512

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関

各種お問合せ (郵便物送付先) 〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行部

(各種事務に関するご照会) 0120-255-100 (通話料無料)  
受付時間 9:00～17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)  
URL <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

### お知らせ

株主様から株式に関するお手続きの各種お問合せ先等は、平成23年8月1日より次のとおり変更となりますので、お知らせいたします。

各種お問合せ (郵便物送付先) 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行部

(各種事務に関するご照会) 0120-094-777 (通話料無料)  
受付時間 9:00～17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)  
URL <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

## 株主優待のご案内

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主様に対し、次のとおり贈呈いたします。

ご所有株式数	ご優待品
500株以上1,000株未満	「クオカード」1,000円券1枚
1,000株以上	「クオカード」2,000円券1枚

## ニーズ!スピード!チャレンジ!



## 大阪証券金融株式会社

〒541-0041 大阪市中央区北浜二丁目4番6号  
TEL06-6233-4510 FAX06-6233-4514

URL <http://www.osf.co.jp/>

